建 設 業 景 況 調 査 岩 手 県 版

2025年度 第2回

2025年 7月~ 9月 実 績

2025年10月~12月 見通し

2025年 10月

東日本建設業保証株式会社 岩 手 支 店

目 次

Ι.	建讀	業景況調査について
	1.	調査要領······ 1
	2.	B.S.I.およびグラフの見方について・・・・・・・ 2
	3.	今回調査の実施要領・・・・・・ 3
${\rm I\hspace{1em}I}.$	調金	結果
	1.	既観······ 4
	2.	主要項目別の動向
		(1) 業況等
		(2) 受注
		(3) 資金繰り・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
		(4) 金融······10
		(5) 資材・・・・・・・・・・・12
		(6) 労務・・・・・・・・・・13
		(7) 収益・・・・・・・・・・・・・・・・・14
		(8) 経営上の問題点・・・・・・・・・・・・・・・・・15
Ш.	調金	票·······16

I. 建設業景況調査について

1. 調查要領

(1)調査の目的

岩手県の建設企業の経営動向の調査を行い、建設業のおかれている状況を 総合的に迅速かつ的確に把握することを目的としています。

(2)調査の時期

毎年3、6、9、12月

- (3)調査項目
 - ① 経営動向地元建設業界の景気、受注、資金繰り、金融、資材、労務及び収益の状況
 - ② 経営上の問題点

(4)調査対象

保証事業会社と取引関係にある建設企業のなかから、地区別、業種別、規模別の分布状況を考慮して、建設業の経営動向を反映するに足りると認められる企業を対象としています。

なお、調査対象企業は原則として固定しています。

(5)集計方法

企業回答を単純集計

(6)調查方法

郵送によるアンケート調査

2. B.S.I.およびグラフの見方について

≪B.S.I.とは≫

景気の先行きをみる上で、企業経営者の意識調査を行うことがあります。この建設業景況調査は、景気等に関して個々の建設業者の意識調査を行ったものです。そして、この意識調査の結果を数値化して表したものが、B. S. I. (ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)です。

本報告書では、棒と折れ線の混在グラフで調査結果を表示しています(グラフ1)。

≪B.S.I.の求め方≫

集計結果から、以下の方法によりB.S.I.が求められます。

【回答企業構成比】

(景	-	集計)	(B.S.I.集計)		
良 やや	い 良い	10%	— 良	V	25%
	っず	45%	— 変	らず	45%
やや 悪	悪い	20%	悪	<i>(</i>)	30%
合	計	100%	一 合	計	100%

B.S.I.=(「良い」と回答した企業割合-「悪い」と回答した企業割合)×1/2

 $= (25-30) \times 1/2$

 $= \triangle 2.5$

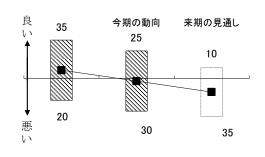
≪B.S.I.の見方≫

B.S.I.は「良い」「悪い」などの変化方向別回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。すべての企業が「良い」とみている場合、B.S.I.は50、逆は△50、すべてが「変らず」の場合は0となります。

(グラフ1)では、B.S.I.が7.5から△2.5になっています。これは、前期より景気が良い(景気は上昇局面にある)と判断している企業が多い状態から、前期より景気が悪い(景気は下降局面にある)と判断している企業が多い状態に変っていることを示しています。この上昇から下降への変わり目(0が基準)を景気の山といい、逆の場合を景気の谷といいます。

(グラフ2)は、その景気の山・谷とB.S.I. の動きの対応関係を示したものです。

(グラフ1)

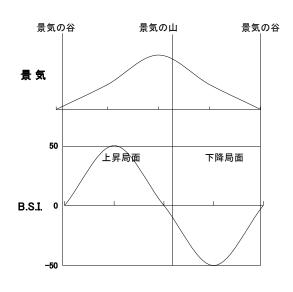


*B.S.I. (7.5) (△2.5) (△12.5) 1.棒ク゚ラフは、回答企業の構成比(%)を示す。

2.折れ線グラフは、B.S.I.を示す。

3.*印を付しているB.S.I.は季節調整済である ことを示す。

(グラフ2)



≪季節調整済のB.S.I.について≫

「季節調整済」とは、季節調整法により、毎年繰り返される季節的な変動を取り除いていることを示します。例えば、百貨店の売上げは、社会的慣習である中元や歳暮のシーズンには前期比で大幅に伸びますが、この伸びは景気回復によるものなのか、あるいは、単に中元・歳暮という季節的な変動によるものなのか、よくわかりません。そこで、景気動向の趨勢をみるためには、この季節的変動を取り除く必要があります。このため、本調査では、このような季節的な変動をもった調査項目は、季節調整を行って表示しています。

3. 今回調査の実施要領

調査時期 2025年9月

調査対象期間 2025年 7~ 9月 実 績

2025年10~12月 見通し

調査対象企業 65 社

有効回答企業 64 社(有効回答率98.5%)

回答企業の内訳

業種 地区		建 築工 事 業	土木建築工事業	設 工 事 業	計
盛	5	3	5	4	17 (26.6)
北部沿岸	8	1	3	3	15 (23.4)
県南	. 8	1	6	3	18 (28.1)
南部沿岸	. 4	1	6	3	14 (21.9)
計	25 (39.1)	6 (9.4)	20 (31.3)	13 (20.3)	

*()内の数値は構成比率(%)

(注)① 土 木 エ 事 業:土木工事が完成工事高の8割以上を占めるもの

② 建 築 工 事 業:建築工事が完成工事高の8割以上を占めるもの ③ 土 木 建 築 工 事 業:土木工事及び建築工事の合計が完成工事高

衆 エ 事 来・エ エー ア び 定案 エ 事 の 古 司 が 元 成 工 事 同 の 8 割以上を占めるもので、①、②以外のもの

④ 設 備 工 事 業:設備工事(電気工事・管工事)が完成工事高の8

割以上を占めるもの

Ⅱ. 調査結果

概観

今 建設労働者の確保は、「困難」傾向が弱まっている期

| 来| | 期||受注総額は、「減少」傾向が強まる見通しとなっている

【今期:前期(2025年 4~6月)に比べた今期(2025年 7~9月)の状況】 【来期:今期(2025年 7~9月)に比べた来期(2025年10~12月)の状況】

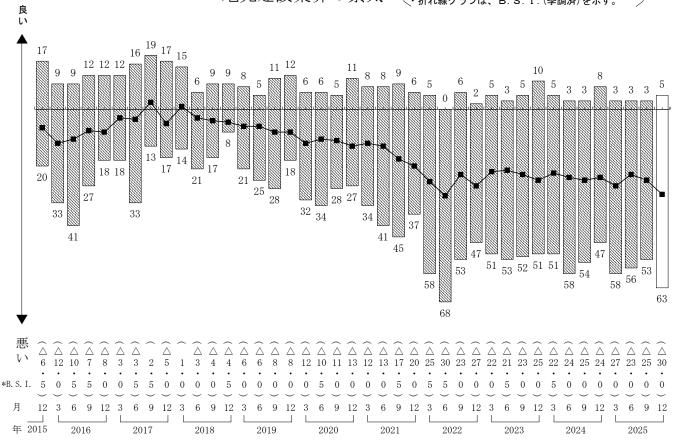
	項		E	l			前期 B.S.I値	推移方向 (前期比)	今期 B.S.I.値	推移方向 (今期比)	来期 B.S.I.値
(1)業 沥	,等	地	元建設	業界	·の景	気	△ 23.0	<u> </u>	△ 25.0	\mathfrak{A}	△ 30.0
		受	注	糸	公心	額	△ 20.5	7	△ 17.5	\mathfrak{A}	△ 26.5
(2)受	注	官	公	庁	エ	事	△ 24.5		△ 24.0	\mathfrak{A}	△ 28.5
		民	間	٦		事	△ 18.0		△ 18.0	\mathfrak{A}	△ 24.0
(3)資 金	繰り	資	金	ŕ	·····································	IJ	△ 7.0	7	△ 4.0	\mathfrak{A}	△ 7.5
		銀	行 等	貸出	出傾	向	3.0	7	4.0	7	4.5
(4)金	融	短	期	借	入	金	5.5	\Diamond	5.5	\mathfrak{A}	0.0
		短	期借	計入	金	利	16.5	7	21.0	\mathfrak{A}	13.0
(5)資	材	資	材	の	調	達	1.0	\square	△ 2.0	\mathfrak{A}	△ 4.5
		資	材	佰	5	格	34.0	\simeq	30.5	\mathfrak{A}	28.5
(6)労	務	建	設労債	動者	の確	保	△ 24.5		△ 19.0	\mathfrak{A}	△ 26.5
		建	設労債	動者	の 賃	金	29.5	\simeq	27.0	\mathfrak{A}	20.5
(7)収	益						△ 20.0	\Rightarrow	△ 20.0	\simeq	Δ 20.5

(注) B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。 B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降等の傾向を示す。 B.S.I.値は、季節調整により前回公表時と異なる場合がある。 〔詳細は、次頁以降「主要項目別の動向」をご覧下さい。〕

(1) 業況等

地元建設業界の景気

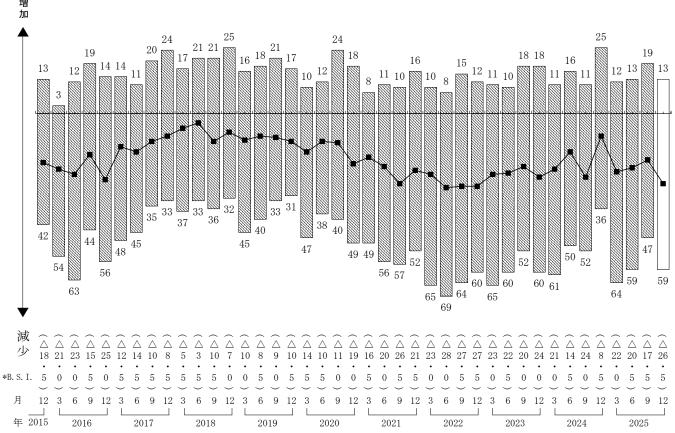
・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 ・折れ線グラフは、B. S. I. (季調済)を示す。



(2) 受注

受注総額

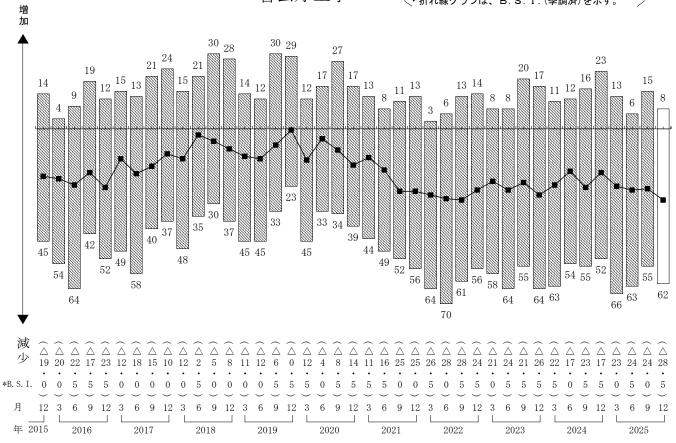
・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 ・折れ線グラフは、B. S. I. (季調済)を示す。



岩手

官公庁工事

・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 、・折れ線グラフは、B. S. I. (季調済)を示す。



民間工事 折れ線グラフは、B.S.I.(季調済)を示す。 増 加 13 14 16 12 __ 14 14 15 15 12 12 10^{-11} 33 35 32 32 39 38 40 40 39 41 41 45 45 46 46

0 0 0

5 5

•

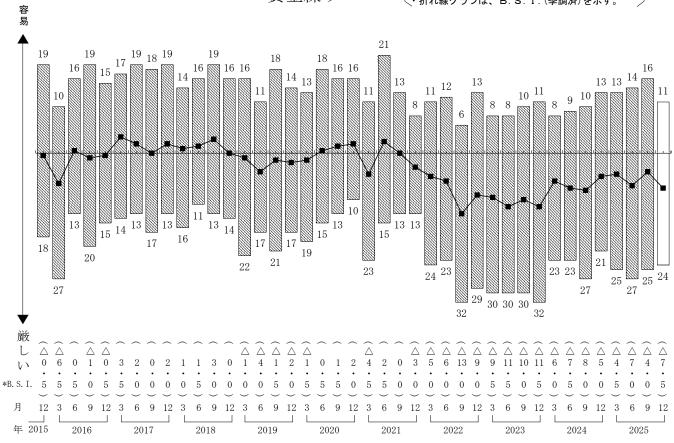
•

•

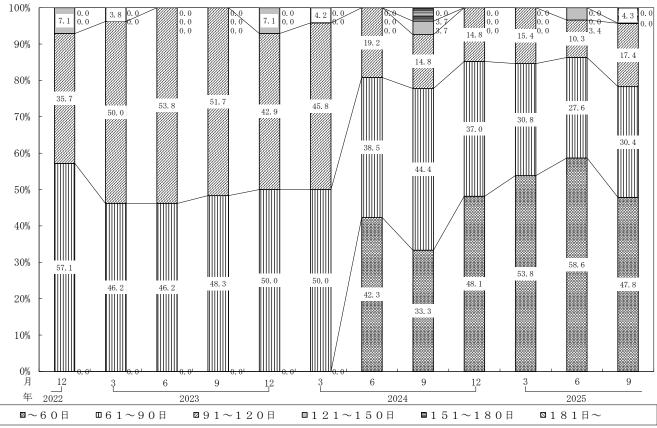
(3) 資金繰り

資金繰り

´・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 、・折れ線グラフは、B. S. Ⅰ. (季調済)を示す。



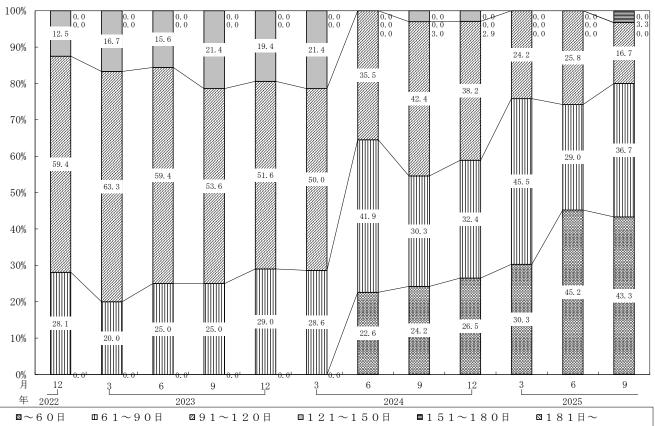
支払手形の平均サイト



※2024年6月分から調査票の回答区分を変更(「~60日」を新設、「181日~」を廃止)。変更前の「~60日」及び変更以後の「181日~」は「0.0」と表記。

受取手形の平均サイト

岩手



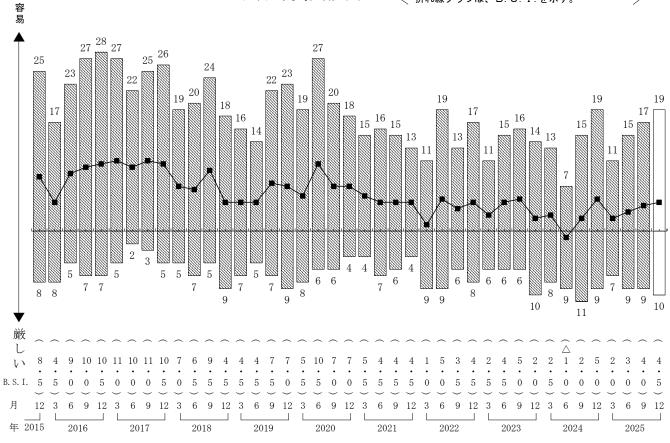
※2024年6月分から調査票の回答区分を変更(「~60日」を新設、「181日~」を廃止)。変更前の「~60日」及び変更以後の「181日~」は「0.0」と表記。

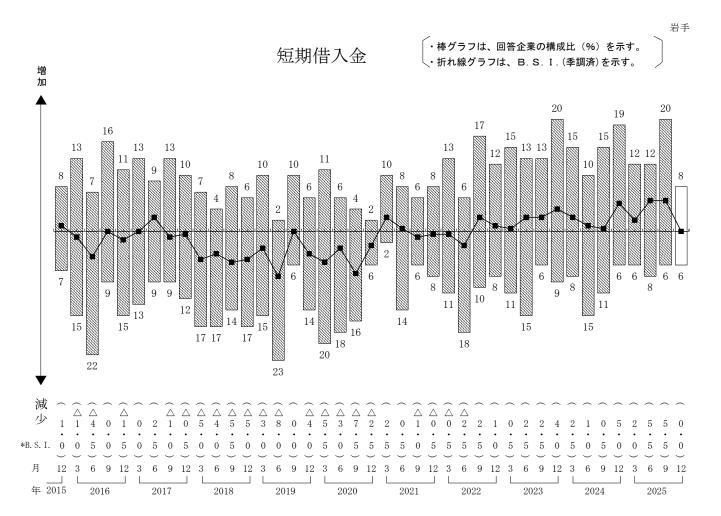


(4) 金融

銀行等貸出傾向

・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 ・折れ線グラフは、B. S. I. を示す。

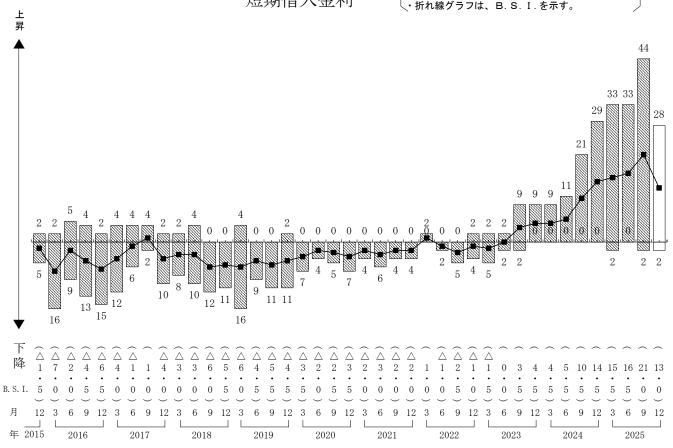




岩手

短期借入金利

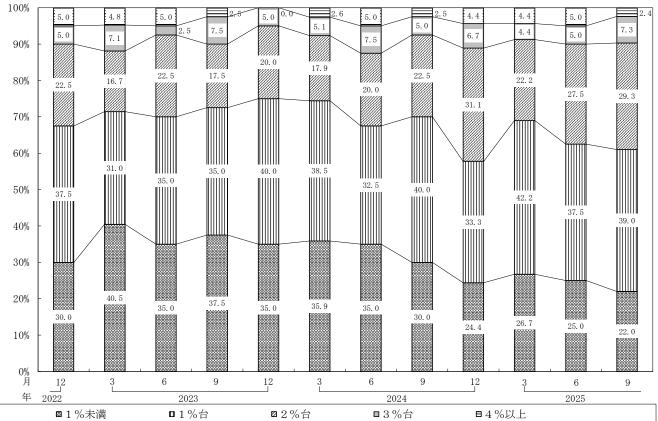
・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 折れ線グラフは、B. S. I. を示す。



短期借入金利の状況

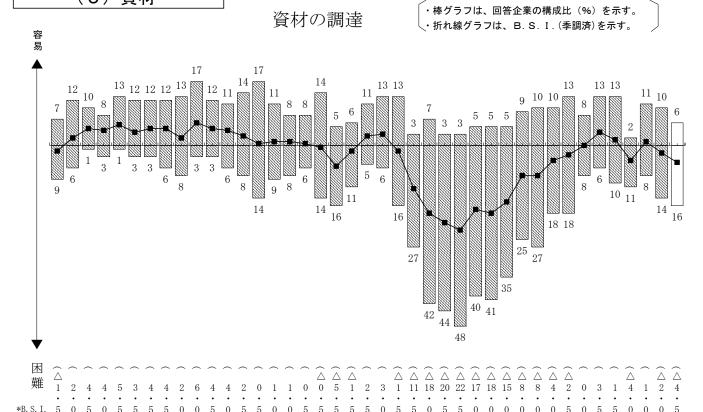
29.3

岩手

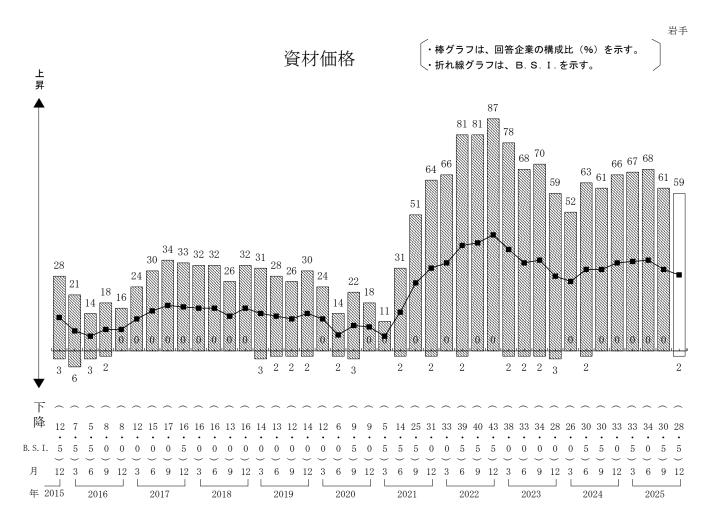




 $9 \ 12 \ 3 \ 6 \ 9 \$



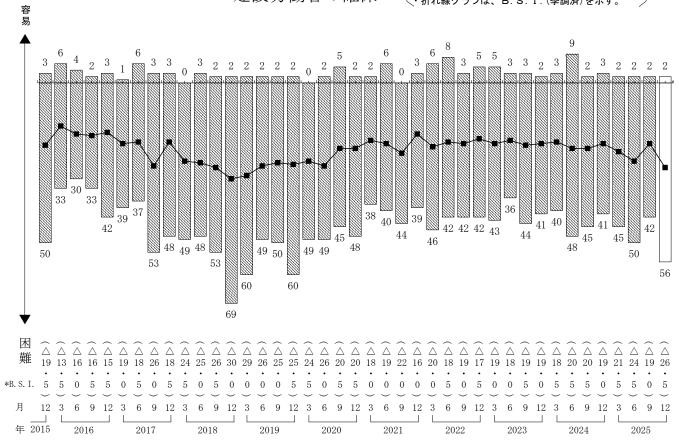
年 2015



(6) 労務

建設労働者の確保

・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 ・折れ線グラフは、B. S. I. (季調済)を示す。



建設労働者の賃金 折れ線グラフは、B. S. I. を示す。 67 56 56 48 47 $^{45\ 46\ 47}$ 43 34 34 33 32 31 30 19 20 3 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 2 3 3 5 下 5 2018 2019 2020 2021 2022 年 2015 2017

(7) 収益

年 2015

2016

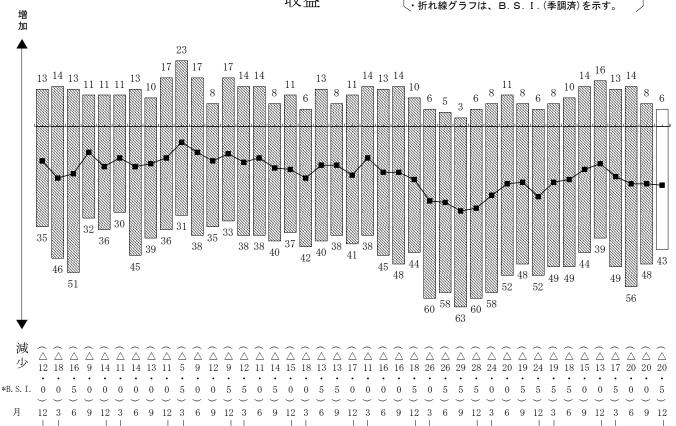
2017

2018

2019

収益

・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 ・折れ線グラフは、B. S. I. (季調済)を示す。



2020

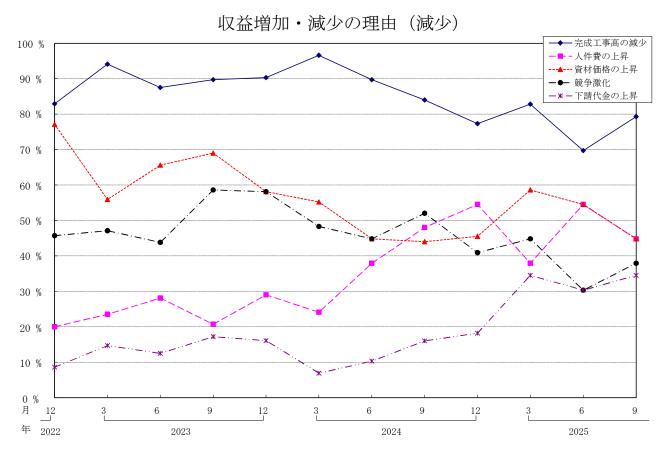
2021

2022

2023

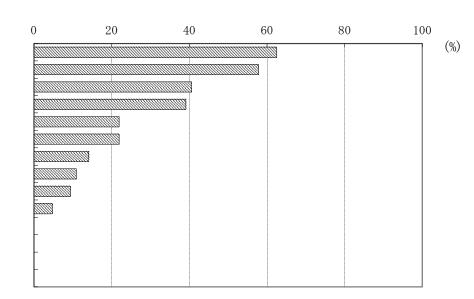
2024

岩手

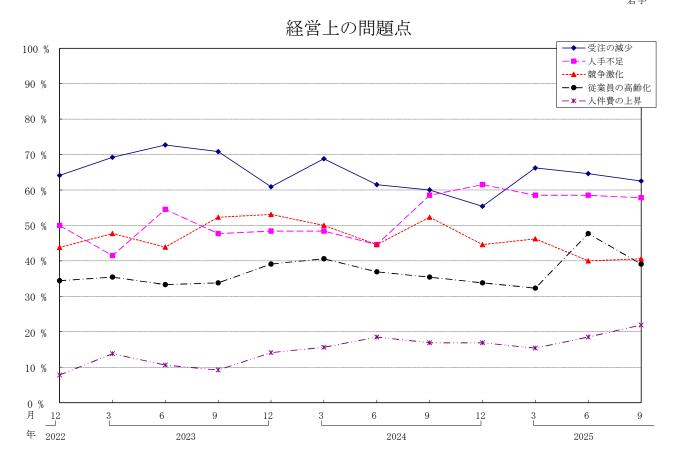


(8)経営上の問題点

今期の経営上の問題点



岩手



く提出用 全調 建設業景況 (2025 年) 集第 2 回 (2025 年 $7 \sim 9$ 月期)

今期に 形成れ 見通しは

女

元は

5.困難)

5. 不羅)

せ

況 畑

ご担当者名 上昇した(職種) 下降した 職種 ⑩建設労働者の確保・賃金について、下記項目に該当するものがあれば各々3つ以内選んでください。 容易な 職種 やや下降 困難な 職種 やや困難 HII. 確保が 賃金が 4. 4. あてはまらない項目や、不明な項目は空白でけっこうです。 (※本アンケート調査は、建設業景況調査結果にのみ使用し、他の目的には一切使用いたしません。) 数のず 数のず 13. 特殊作業員 ص . ი ი 16.鉄筋工 19. 型枠工 22. 電工 2.やや上昇 2. やや容易 12. 普通作業員 18. 特殊運転手 、その他 15. EUI (1.上昇 (1.容易 21. 左官 ①建設労働者の賃金 ⑥建設労働者の確保 14.石工・ブロック工 労務の動向について 17.一般運転手 <記入上のお願い>ご回答は、回答欄に番号でご記入ください。(番号以外のもの (鈴織など)は、ご記入なさらないようにお願いします。) 11. 軽作業員 配管工 20.大工 23. . 2 見通しは 見通しは 今期 元 光 次 パング おおんと 今期に比べる 変数 (25.4~6) に比べて 現況は 前 形 気 れ れ 労 地 場 が が れ 現況と見通しについておたずねします。 [現況(7~9月)・見通し(10~12月)] (公職) 悪い) 5.減少) 5. 減少) 5.減少) 2 ū 4. やや減少 4.やや減少 4. やや減少 4. やや悪い 4.やや悪い 数らず 3. 数のず 3 数 5 ず 3. 変らず 3. 変らず က やや良い やや良い やや増加 、やや増加 やや増加 2 2 2 0 Ø 京い ②地元建設業界の景気 (1.良い (1.增加 (1.增加 (1.增加 ③官公庁工事受注額 ⑤受注総額(③+④) ④民間工事受注額 工事受注について 1. 業況等について ①貴社の業況 ς.

上記⑩(現況)で「4.やや減少」「5.減少」とお答 えになった主な理由を3つ以内選んでください。 今期に 比べた 見通しは 12.発注単価の低下 14. 下請代金の上昇 16. 金利負担の増加 形成などの記述が 競争激化 5.減少) 18. 11.完成工事高の減少 13.人件費の上昇 15.資材価格の上昇 19. 天候条件 (不良) 4. やや減少 減少理由は 17. 諸経費の増加 かの街(3. 変らず 上記⑩(現況)で「1.増加」「2.やや増加」とお答 えになった主な理由を3つ以内選んでください。 (1.増加 2.やや増加 14. 資材価格の低下 16. 諸経費の減少 12.発注単価の上昇 19. 技術 革新 (機械化・ロボット化・新工法の導入等) 18. 天候条件(良) 11.完成工事高の増加 13.下請代金の低下 15.金利負担の減少 増加理由は 17. 施工の合理化 6. 改権にしこん 20.その他 19収益

現況は

1.[1%表潢] 2.[1%台] 3.[2%台] 4.[3%台] 5.[4%台]) 6.[5%台] 7.[6%台] 8.[7%台] 9.[8%以上]

⑩実際の短期借入金利 (7~9月に主力金融機関から運転資金として新規に借入した金利)

5.下降)

4. やや下降

3.変らず

0

⑨短期借入金利

4.121~150H 5.151H~)

3.91~120⊞ 3.91~120H

61~90日 61~90H

2 ς,

回受取手形の平均サイト(1.~60日 ①支払手形の平均サイト(1.~60日

4.121~150H 5.151H~)

現在直面している経営上の問題を上位から3つ以内選んでください。

今期に

見通し

部 地 地 流 が に

Ħ

汽 照

> 困難な もの 容易な もの

調達が

15. 形鋼·厚板

14.棒鋼 17. 木材

12.砂利・砕石・砂

11. 生コン・セメント 13. コンクリート二次製品

18. 合板

21. 電材

20.塩ビ管

アスファルト合材

19.

かの街

.鋼矢板·鋼管

5.下降)

(1.上昇 2.やや上昇 3.変らず 4.やや下降

⑥資材の調達・価格について、下記項目に該当するものがあれば 各々3つ以内選んでください。

5.困難)

4. やや困難

3.数のず

やや容易

0

(1.容易

(3)資材の調達

函資材価格

資材の動向について

₹

14.従業員の高齢化 18.資材の確保難	22.金利負担の増加	•	
13. 人手不足 (技能・技術者含む) 17. 下請代金 (外注費) の上昇	21. 借入難		問題点
12.競争激化 16.下請の確保難	20.諸経費の増加	24.その他(
11.受注の減少 15.人件費の上昇	19. 資材価格の上昇	23. 代金回収難	

本調査結果につきましては、後日ご報告させていただきます。 い協力もりがとうバがいました。

よりたしたのである。

価格が

北海道建設業信用保証株式会社東日本建設業保証株式会社西日本建設業保証株式会社西日本建設業保証株式会社

見通し

(容易 2. やや容易 3. 変らず 4. やや厳しい 5. 厳しい)

金融・資金繰りについて

. 3

⑥資金繰り

厳しい)

ۍ.

4. やや厳しい

数らず

€,

2. やや容易

(1.容易

⑦銀行等の貸出傾向

5. 減少)

3.変らず 4.やや減少

2. やや増加 早上中今.

(1.增加 (1.上昇

短期借入金

東日本建設業保証株式会社 岩 手 支 店

〒020-0873 盛岡市松尾町17-9 岩手県建設会館2階 TEL 019(624)4480 FAX 0120(027)216

本 社 〒104-8438 東京都中央区八丁堀2-27-10 TEL 03(3552)7528代 https://www.ejcs.co.jp